

超行動派。

横浜市議員(旭区選出)

やすひろ

こがゆ康弘

民主党横浜市議員団所属

2013年
10月号

市政報告

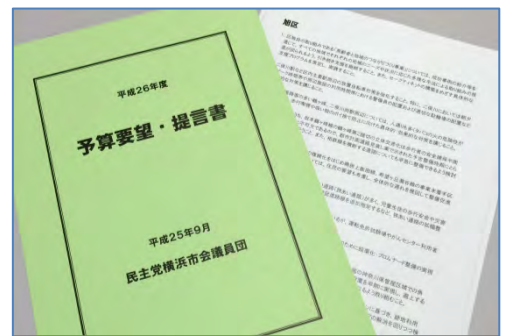
連絡先: 〒241-0821 旭区二俣川 1-5 (こがゆ康弘事務所) ホームページは [こがゆ](http://www.kogayu.net) 検索

TEL/FAX: 045-366-9381 メール: info@kogayu.net <http://www.kogayu.net>

横浜市「平成26年度予算要望・提言書」を提出しました

こがゆ康弘は、横浜市の平成26年度一般会計および特別会計予算編成に対する要望、さらに今後取り組むべき諸課題に対する政策提言を取りまとめ、市議団の「平成26年度予算要望・提言書」として、9月26日に林 文子 横浜市長に提出しました。

今回の予算要望・提言書では、こがゆ康弘が旭区内の各地域を訪問した際に区民の皆様から寄せられたご意見や各種団体からのヒアリングをもとに、更なる行財政改革の推進、子どもたちの将来の育成、高齢化・人口減少社会を見据えた医療の充実やコンパクトな街づくり、市内経済活性化など、市民や市内事業者が将来に向けて安心と希望を実感できることを最優先に、各局と各区あての要望としてまとめています。



主要要望と提言(重点項目・局別要望・緊急提言・旭区への要望)

平成26年度は、横浜市にとって新たな中期計画の初年度です。少子高齢化が急速に進む横浜市の将来にとって、どのような政策が必要なのか市民目線でしっかり考え、着実に予算化することで一つひとつ実現していく必要があります。厳しい財政状況の中にあっても、高齢者や障害児・者が地域で安心して生活できるよう福祉・保険・医療政策を推進するとともに、次代を担う若い世代が夢や希望を持てる環境を整え、女性が活躍し働きやすい社会の実現のために、様々な分野での政策提言・要望を行っています。重点項目として、①効率的・効果的な予算配分 ②女性が働きやすい横浜の実現③横浜市立市民病院の再整備④待機児童ゼロ継続に向けた保育士の確保 ⑤放置自転車対策 ⑥放射能対策の強化 ⑦大型客船向けターミナルの整備促進 ⑧関内・関外地区の活性化 等の12点を特に強く要望しました。



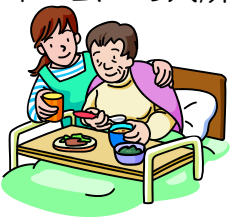
関連部局・旭区	要望・提言事項
こども青少年局関連	保育所待機児童ゼロの維持と保育の質の向上のため、横浜保育室・無認可保育所における保育士の処遇改善と施設の改修、運営安定化のための基本助成額の拡大を行うこと
健康福祉局関連	「子供を産み育てやすい都市横浜」の実現のために、小児医療費の助成については、対象年齢のさらなる引き上げを図るとともに、所得制限の撤廃を検討すること
都市整備局関連	市営地下鉄3号線の延伸(あざみ野-新百合ヶ丘)は地元の声を生かして推進すること
市民局関連	管理不全の空き家・空き地対策の検討を進め、環境衛生、防犯上の問題、火災の発生など近隣への悪影響を最小限とするための全市的な対策を検討すること
経済局関連	地元商店街の活性化に向けて助成予算の拡充と結果のフォローを行うこと。また、商店街の空き店舗活用事業については、より利用しやすい制度となるよう見直しを行うこと
教育委員会関連	複雑化する「いじめ」の実態把握に努め、児童生徒が相談しやすい環境を整備すること 中学校昼食については食育・地産地消・地域経済活性化の観点で鋭意検討すること
旭区への要望	歩行安全や災害時緊急対応のため、区内の道幅の狭い道路の拡幅整備を促進すること 鶴ヶ峰駅に隣接する鶴ヶ峰第2踏切の立体交差化は区民の強い要望であり実現すること 二俣川駅など旭区内主要駅周辺の放置自転車対策を強化すること など

横浜市における介護保険事業の現状と課題

平成12年にスタートした介護保険制度は、高齢化の進展に伴い被保険者数や介護認定者数が増加し、その結果介護給付費も年々増大し、制度自体の転換点を迎えているといわれています。

横浜市においても、当初3万5千人であったサービス利用者数は、昨年4月には10万4千人と3倍となり、介護保険財政も平成12年度の652億円から平成24年度は2,163億円と3.3倍にまで膨らんでいます。その結果、介護保険料基準額も第1期(H12~H14)の3,165円から現在の第5期には5,000円にまで値上げされました。

また、一人あたりの給付額の平均は年間約182万円(H24年度)となっており、特に施設サービスの要介護5では、一人当たり年間約334万と高額となっています。介護保険給付費は高齢者自身の保険料だけでなく現役世代の保険料負担や国費、市費などの税金で賄われていますが、今後の高齢化の進展によって介護を必要とする方はますます増加すると予想されます。現在でも特別養護老人ホームへの入所ニーズは高く入所待ちの状況が続いています。これからは財政的な面からも在宅介護を一層推進する必要がありますが、家族の負担が大きいなど課題も多いのが実情です。



こうした状況を踏まえ、こがゆ康弘は、在宅介護を地域で支える地域密着型サービスを一層充実させることで、施設型サービス(特養や老健など)と在宅型サービスとをバランスよく提供し、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう一層の施策の充実を要望しています。皆様のご意見やご要望をお待ちしています。

区分	1人当たり給付額 (H24年度1年間)
在宅サービス	124.8万円
地域密着型 サービス	241.6万円
施設サービス	325.7万円

介護サービス利用者一人あたりの給付額は施設サービス(特養など)が在宅サービスの約3倍となっています。

旭区は「さんさん」と「にこにこ」って…どういう意味??

私たちの住む旭区に関する数字「33(さんさん)」と「2525(にこにこ)」をご存知ですか?

◆ 「33」とは・・・

旭区の面積(約33平方キロメートル)・旭区役所の標高(約33メートル)の数字です!

◆ 「2525」とは・・・

旭区は人口(25万人)と、高齢化率(65歳以上の人口比率が約25%)の数字です。

とても高齢化の進んでいる区と言えます。ちなみに、旭区内の最高齢は108歳の女性で、今年度100歳以上の方は108人もいらっしゃいます。高齢者の方々が住みやすい街にしたいですね。

今宿消防出張所において新たに救急隊の運用が開始します!

旭区内の消防出張所は、さちが丘・都岡・南本宿・若葉台・市沢・今宿の6か所にありますが、旭区内の高齢化の状況やそれに伴う救急需要の増加を想定し、旭消防署今宿消防出張所に救急隊1隊を増隊し、今宿地区を中心とする旭区中央部の救急体制の強化を図ることとなりました。

新たに8名の救急隊員が配置され、10月3日より、運用が開始されています。


旭区では高度な救急医療への要望が引き続き高いため、増隊により一層の救命率の向上が期待されています。



平成24年度決算特別委員会において横浜市をチェックしました!

厳しい財政運営が続く横浜市の平成24年度決算を審査する決算特別委員会において、市政をチェック!

- ✓ **健康福祉局への質問**(10月15日): 介護保険財政、放射線対策、貧困ビジネスの防止等について
- ✓ **建築局への質問**(10月17日): 狭あい道路の改善、高齢者向け住宅、がけ崩れ対策等について




横浜市議員
(旭区選出) **こがゆ康弘** プロフィール

【趣味】 釣り、バスケットボール、読書、模型製作、…
【資格】 コンクリート技士、1級土木施工管理技士

13年間の民間企業勤務を経て、横浜市政を志す。
2006年初当選(現在3期目)
【2013年度】
常任委員会: 経済・港湾委員会 副委員長
特別委員会: 新市庁舎に関する調査特別委員会

小さなことでも気軽に
ご相談下さい!
“地域の声”が活動の源です!



連絡先: 〒241-0821 旭区二俣川1-5(事務所)
TEL/FAX: 045-366-9381
メール: info@kogayu.net
<http://www.kogayu.net>